

## 第1回 三木市手話施策推進会議 会議録

日時 令和元年9月3日(火) 午後3時～午後5時

場所 三木市役所 4階 特別会議室

公開

傍聴人 なし

出席者：山本紋子・梶 正義・澤谷菊代・池上 睦・喜多 司・黒井一寿・藤田守  
厚和子・三枝 恵・西田たつ子  
坂田直裕・岩崎国彦・與倉秀顕・山本容子・嵐田真奈美

開会

あいさつ

自己紹介

会長・副会長 選出

会長 山本紋子委員

副会長 梶 正義委員

平成30年度事業報告

事務局	説明
委員	手話通訳者の配置について 利用件数163件の内、医療12件・情報5件とあるが、どんな内容か？
事務局	医療は、窓口で医療についての相談があった件数、情報については困りごとや問題があった時に情報提供をした件数をあげている
委員	啓発講座について 公民館主催の講座は、受講者ではなく委員となっている。何の委員？
事務局	公民館で社会福祉委員会などの会合をされている。その時に啓発講座を実施したので、委員とした。
	全国手話通訳者統一試験について 合格者はなしとあるが難しい？
事務局	毎年合格率は低い。なかなか手話通訳者のなり手がなく苦慮している。

令和元年度実施計画案及び実施状況

事務局	説明
委員	ポスター募集について 募集のテーマに「手話言語条例」という言葉がないのが残念。条例の中には市民も責務として手話を学んだりあいさつくらいはできるようになって、同じ市民である聴覚障がい者、ろう者とお互いに支え合っていかななくてはなら

	<p>ないと書かれている。行政も、事業所もやらなくてはならないと条例に書かれている。</p> <p>手話施策推進方針実施状況の評価の仕方について</p> <p>実施したら○、来年度実施予定△、できないと×というのではきちんと評価できないのではないか。</p>
事務局	<p>事業実施の有無が評価になっている。アンケートなどの結果で評価する方法など様々な評価の仕方があると思うので委員からもご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>アンケートなどを作る際に、ろう者も入ったらい。ろう者がこれまで手話を禁じられてきた中で持っている情報量や知識量を考えると、手話を使える環境についての施策がない。聞こえない市民が手話を使って生きやすい社会を作るのが目的。堂々と手話を使えるような施策がもうちょっと見るといい。</p> <p>絵本の読み語りは聞こえない子供が、手話で絵本を読んで、手話を豊かに使ったり堂々とつかえたりする目的がある。</p>
委員	<p>市民にとっては手話というコミュニケーション手段が広がり、市民同士のコミュニケーションの場で手話が広がるということは分かりやすい。ろう者が手話により様々な情報の理解を深めていけるような施策が欠けているという意味ととらえていいのですか。</p>
委員	<p>ろう者が手話を抑えられ、日本語を得るために努力したが、なかなか理解できない自分の使う言葉でないものを使わなくてはならなかった。言語力が十分に育っていない現状がある。日本語の文章も読みこなせるかという点と難しい。手話でやればいいのかという点、そうではない。ろう者と聴者との情報や知識のギャップがある。例えば、消費税が上がるなどの情報を、ろう者が理解するにはどうするのか検討してほしい。</p> <p>三木市は手話言語条例なので、手話を自分の言語としてちゃんと使える背景を作っていくようにしてほしい。啓発講座の講師にろう者が入って自分の経験を手話で話ができるのは自信になっている。ろう者が聞こえる人に対して自分のことを喋れるとプラスになっている。</p>
委員	<p>消費税が10月からは10%になるというが、よくわからない。情報が欲しい。</p>
事務局	<p>手話も日本語も十分習得できなかった人たちが置き去りにされている現状もある。高齢のろう者だけでなく、意外に若い40代、50代の方でも習得できていない人がいる。それが今社会問題として残っている。三木市の手話言語条例はそこを訴えているという部分をもっと理解してもらおうようにしなくてはならないが、この部分を市民に理解いただくのは難しい。まず市民には、そういう問題があることを認識してもらおう必要がある。周りへの理解を</p>

	<p>重点的にもっていきたいが、子どもたちに啓発講座等で「手話言語条例」のことを話すが、学校の中できちんと伝えられるのか、課題となっている。</p> <p>ろう者に対しての支援もまだまだだが、個別支援として、例えばタブレットを使った支援や、その他の情報についてもどうやって発信していくのか、手話と日本語両方あればわかりやすいのか、聞こえない委員と話をすることが必要かと思っている。</p>
委員	<p>なかなか今の現状では一足飛びに行かないから少しずつのステップでいきましょうということ、よくわかる。それなら、5年後10年後の提案をしなければいけない。言語条例が出来て4年目で学校の啓発講座は大体できた。課題は何か、5年先、10年先はどこを目指すのかがなければ、なかなか前に進まない。</p>
委員	<p>今後は一緒に考えていきたい。タブレットの利用方法も知らない。設置があるのか？2台あるということだが、ずっと貸出し中になっているのか？</p>
事務局	<p>タブレットは2台、障害福祉課に用意し使用できるようにしたが、具体的な使い方はろう者と考える必要がある。一緒にやっていきたいのでご協力をお願いしたい。</p>
委員	<p>どんな時に活用するのか？遠隔手話通訳のため？</p>
事務局	<p>手話を使って設置者と通信しながら話を。まず使い方を理解してもらい、どう使うかを試験的に進めていこうとしている。</p>
委員	<p>ろう者と一緒に使いながら、こんな風に使えば使いやすいと相談することか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>手話動画も出ているが、少ないと思う。他市の動画で、手話指導に行った高校生と一緒に楽しそうにやっているのがあった。三木市でも啓発で学習した生徒などに声をかければ熱心にやってくれると思う。まだまだ「手話言語条例、何それ？」と言われる状況で、市民の責務があるのに市民が知らないというのは残念。もう少し人の目に触れることをやってほしい。ろうあ協会に入っていない人にも情報がいくようにしてほしい。</p> <p>事業所の研修は昨年と同じ所なので、何か意味があるのかもしれないが他の所でもしてほしい。</p> <p>5年後にはいろいろな事業所で研修できているとか、学校の生徒と一緒にPRしようとするとか楽しい企画を入れてほしい。5年先にはこんなことができている、そして10年先には市民はだいたい挨拶ができるというような展望を持ってもらいたい。</p>
事務局	<p>動画は配信予定のものがある。見てもらいたい。</p>
<p>動画視聴</p>	

委員	表情が足りない。笑顔が少ないので、もっと明るいものがいい。
委員	コンビニなどで困ることはあるか？
委員	コンビニは身ぶりでやれる。物を指したり身ぶりで分かることもある。
委員	いいのが出来ている、もう見れるのか？
事務局	もう間もなく配信する予定。
委員	YouTubeなどで手話の動画を流すのは良い。パターンをたくさん作って、ろう者に意見を聞きながら動画を作れば効果があがると思う
委員	<p>具体的なシチュエーションはわかりやすい。ろう者でもよいが、啓発講座を受けた生徒が出演しても良いと思う。顔が出るのがいいのかどうかは別途検討が必要。場面を検討するのも、ろう者と一緒に作り上げるのが良い。一発で終わるのではなく、つながっていくのが大事。</p> <p>アンケートも実際使ってみたというような声がよせられたりするように作るのも面白い。</p> <p>言葉というのはコミュニケーションツールとしてだけではなく、思考や学習にも使う。言葉の持つ意味が条例の意味合いになってくる。これを理解するのは難しいかもしれないが、手話の学習とあわせて少しだけ、そういうことを学ぶのがいいと思う。</p>
委員	<p>手話通訳の養成について。統一試験も合格者は数年出ていない。全国的にも合格率は低く厳しい状況ではあるが、三木市の登録者は井の中の蛙になっていると思う。研修の内容もレベルが低い。登録者、設置者も安いなりに報酬を受け取っているのだから、もっときちんと勉強しないといけないと思う。</p> <p>登録者は受けなくても登録は続けられる。新しい情報を知らなすぎる。市ももう少し勉強するように働きかけをしてほしい。</p>
事務局	<p>もっと勉強しないといけないと思うことはある。三木市の登録者は命を削ってやっている人もいる。今日の資料にあるように手話が出来た人が少ない中で、自分の生活を犠牲にしてやっている。そういう状況の中で、市が出来たことは、みんながなりたいと思うように金銭的な面も含めてどうしたらよいか考えることだと思う。皆さんの意見を聞かせてほしいと思う。</p>
委員	<p>みなさん、一生懸命にやっているとは思いますが、他市の研修について知らないと思うし、地域外の通訳者がバリバリ通訳をしている様子を見たりしてないと思う。外に出て様子を見たり、勉強したりしてほしい。他の人を見れば、自分も頑張ろうという気持ちになるのではないかな。</p> <p>登録通訳者の研修にも費用をかけて、しっかり勉強させてもらうことをやっていけば、勉強したいことも出てくる。市の予算を取ることで、研修をしっかりできると思う。</p> <p>報償費も他市は3000円のところもある。三木市は安い。他市の様子は？</p>

委員	三木市は登録者の研修が3回で数が少ない。他市は5回はやっている。通訳者としての心構えや知識の講義を受け、技術の研修も行っている。通訳者が頑張っているのは大変だと思うが、ろう者にとっては命に係わること。 5年後、10年後のビジョンについて考えはあるか？
事務局	今、三木市では総合計画の策定をすすめている。10年20年先にはどういう三木市を作っていくかという計画。総合計画の中で手話言語条例のことも書き込んでいけるように考えたい。 今後パブコメも実施するので、委員の皆さんは意見を出していただきたい。

次回日程調整

閉会